

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年9月16日(2021.9.16)

【公開番号】特開2020-38268(P2020-38268A)

【公開日】令和2年3月12日(2020.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2020-010

【出願番号】特願2018-164813(P2018-164813)

【国際特許分類】

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 13/00

B 2 4 B 9/14 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月4日(2021.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡レンズに加工治具であるカップを取り付けるカップ取付装置において、

前記眼鏡レンズの前面と、前記カップの取付面と、を平行に保つことで、前記カップを取り付ける基準面を前記眼鏡レンズの前面とし、前記眼鏡レンズを支持する第1レンズ支持手段と、

前記眼鏡レンズの後面と、前記カップの取付面と、を平行に保つことで、前記カップを取り付ける基準面を前記眼鏡レンズの後面とし、前記眼鏡レンズを支持する第2レンズ支持手段と、

前記カップ取付装置において、前記第1レンズ支持手段と前記第2レンズ支持手段とを切り換える切換手段と、

前記眼鏡レンズに前記カップを取り付けるカップ取付手段と、

を備えることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項2】

請求項1のカップ取付装置において、

前記切換手段は、前記第1レンズ支持手段及び前記第2レンズ支持手段をカップ取付装置に装着可能とする第1着脱手段を有し、前記第1着脱手段を用いて前記第1レンズ支持手段または前記第2レンズ支持手段のいずれか一方を取り付けることによって、前記第1レンズ支持手段と前記第2レンズ支持手段とを切り換えることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項3】

請求項1または2のカップ取付装置において、

前記第1レンズ支持手段は、前記カップの取付面に対して回転自在な第1支持ピンを有し、

前記第1支持ピンに載置された前記眼鏡レンズの前面と、前記カップの取付面とを平行に保つことで、前記眼鏡レンズの前面を前記基準面とすることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項4】

請求項 3 のカップ取付装置において、

前記第1レンズ支持手段は、さらに、前記眼鏡レンズの前面を押さえるレンズ押さえ手段を有し、

前記第1支持ピンに載置されるとともに前記レンズ押さえ手段に押さえられた前記眼鏡レンズの前面と、前記レンズ押さえ手段と、の当接面を平行に保つことで、前記眼鏡レンズの前面と前記カップの取付面とを平行に保ち、前記眼鏡レンズの前面を前記基準面とすることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかのカップ取付装置において、

前記第2レンズ支持手段は、前記眼鏡レンズを載置する固定配置された第2支持ピンを有し、

前記第2支持ピンと、前記第2支持ピンに載置された前記眼鏡レンズの後面と、の当接面を平行に保つことで、前記眼鏡レンズの後面と前記カップの取付面とを平行に保ち、前記眼鏡レンズの後面を前記基準面とすることを特徴とするカップ取付装置。

【請求項 6】

請求項 1 のカップ取付装置において、

前記切換手段は、前記第1レンズ支持手段と前記第2レンズ支持手段とを移動させる駆動部を有し、前記駆動部を駆動させることによって、前記第1レンズ支持手段と前記第2レンズ支持手段とを切り換えることを特徴とするカップ取付装置。